



F r e s h ! カーサ

＜主な内容＞

施設長あいさつ

新人職員の紹介

施設紹介

医務室・施設栄養士より

第17号

平成27年6月30日発行



施設長あいさつ

特別養護老人ホームカーサ南盛岡
施設長 菊地 賢次

盛夏のみぎり、皆様にはますますご健勝のことと心からお喜び申し上げます。

私は、去る3月26日に開催の社会福祉法人幸星会理事会において特別養護老人ホームカーサ南盛岡施設長に選任されました菊地賢次でございます。もとより微力ではございますが、高齢者福祉サービス向上のため専心努力いたす所存でございますので、皆様にはご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、平成27年度は介護保険制度を取り巻く状況が大きく変わりました。つきましては、紙面の一部をお借りし、少しこうした制度改正の背景と私ども施設にどのような影響を及ぼしたかなどについてお話したいと思っております。

最初に、介護保険制度は創設から15年目を迎え、介護サービスの提供は着実に拡充されてきました。また、今後、更なる増加が見込まれる高齢者の地域における暮らしを支えるためには、介護サービスとともに医療ニーズを併せ持つ要介護者の増大が見込まれる、団塊の世代が全て75歳以上に到達する2025年（平成37年）頃までに、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に提供される「地域包括ケアシステム」を構築することが喫緊の課題となっております。この地域包括ケアシステムは、高齢者ができる限り住み慣れた地域で“在宅”を基本とした生活を継続できるよう、医療と介護が役割分担と連携をしながら支えていくというものであります。

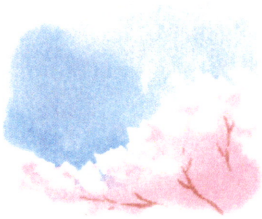
こうした一連の流れの中で、特別養護老人ホームは、地域において中重度の要介護者を支える機能として位置付けられ、原則、入所者は要介護度3以上となりました。このことから、当施設では入所指針や重要事項説明書等を改正し、4月1日以降の入所者につきましては、原則、要介護度3以上としました。

また、これに伴って、入所者の高齢化や重度化がなお一層進むことに対応するため、入所者やご家族の意向を尊重しつつ手厚い看取り介護を行うこととし、看取り指針を見直し看取りに関する理解の促進に努めているところであります。このほか個別ケアの充実を図るため口腔ケアや機能訓練、療養食等の見直しを行い、入所者お一人おひとりの望みをかなえつつ、その人らしく生活できるよう支援を行うことといたしました。

ご家族の皆様には、食費や部屋代の負担軽減の基準変更など種々の制度改正に戸惑いもあるかと思いますが、ご不明な点などありましたら、どうぞご遠慮なく当方の職員にご相談してください。
皆様方のご健勝をご祈念いたします。



大好きな 利用者様方と 一緒に過ごした日々



美しい岩手の自然に誘われて

季節が冬から春へと移り変わり、外出するのが気持ちよくなってきました。

各ユニットは、それぞれ利用者様方と一緒に桜の花を見に出かけたり、当施設近くのお花畑へ散歩に行ったりしました。

場所はそれぞれ違えども、美しく咲く花を見て私たちも、利用者様方も幸せな気分になり、自然と笑みがこぼれました。

まさに「春の息吹」を感じた瞬間でした。





レクリエーションあれこれ

各ユニットでは、ボール遊びや輪投げ、シャボン玉遊びなど様々なレクリエーションを実施しております。

利用者の皆様は、とても熱心に取り組んで下さったので、私たち職員も利用者様方から、持ちきれないほどの元気をいただくことが出来ました。



嚥下体操

最近、各ユニットで取り組んでいる、嚥下体操の様子です。

体操をする事により、呼吸する・食べる・話すなど重要な役割を持っている口を鍛えています。

体操の際、誰よりも大きな声を出す利用者様もいらっしゃるので、手本を見せる私たち職員も、気合が入ります。



食の楽しみ

利用者様方の誕生日のお祝いや、季節の行事に合わせたご馳走の提供など、食べることの楽しみも、提供させて頂いています。

時には、車で外食へと出かけるユニットもありました。





ショートステイ ふじの家にて



前を向いて

当ショートステイを利用されている方々は、活動的な方が多く、平行棒や歩行器を使用し、職員と一緒に運動することを、楽しみの一つとされているようです。

外を歩くのが気持ちよくなってからは、施設周辺を一周される方もいらっしゃいます。「諦めないこと」を利用者様方は、私達職員に伝えて下さっています。



利用者様の挑戦

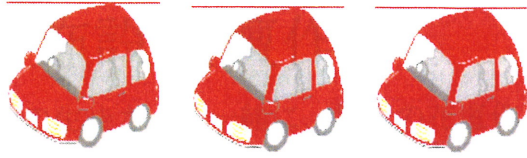
利用者様方は、様々なレクリエーションを笑顔で楽しんでくださっています。中には、書道や生け花の実力者の方もおり、職員一同驚いていました。



食への追求

職員と力を合わせて食事を作ったり、ドライブに行った先でおいしいものを食べたりと、三度の食事がレクリエーションの時間になることもあります。





デイサービスの 4か月



2月

高松の池へ白鳥を見に出かけました。
外は寒かったのですが白鳥が近くまで来て
とても綺麗で楽しめた日でした。



3月

桜餅を作りました。
ホットケーキの粉に色づけにかき氷シロップを少々、ホット
プレートで焼いてあんこ・桜の葉を巻き食べました。
なかなかおいしくでき「おいしかったよ」と皆さん話されて
いました。



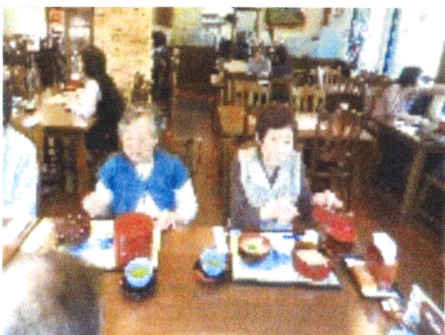
4月

桜の季節ということで都南公園～南昌山方面へ
お花見ドライブに行ってきました。
天気も良く暖かく桜の花も満開であり、とても
綺麗な桜を見ることが出来ました。



5月

花巻市石鳥谷の芽吹き屋へ行ってきました。
食事はとてもおいしく、普段あまり食べない方も「おいしい、おいしい」と話され全部召し上がりました。



施設管理栄養士から

食中毒は、その原因となる細菌やウイルスが食べ物に付着し、体内へ侵入することによって発生します。症状は嘔吐や腹痛、下痢、発熱等様々あり、重症化すると命の危険を招く場合もあります。気温も室温も高くなるこの時期は、細菌が増殖しやすい時期でもあり、更なる注意が必要です。食中毒を防ぐには、細菌などを食べ物に「つけない」、食べ物に付着した細菌を「増やさない」、食べ物や調理器具に付着した細菌やウイルスを「やっつける」という3つの事が原則です。「つけない」ために、調理前や食前には必ず手洗いを行いましょう。「増やさない」ために、食品は冷蔵庫で保管し、低温での温度管理を徹底しましょう。「やっつける」ために、食品は中心部までよく加熱することが大切です。調理器具の熱湯殺菌も効果的です。これら3つの事を徹底し、健康な毎日を過ごしましょう！不明な点がございましたら、お気軽に栄養士までご相談ください。

藤原 歩美

医務室だより

～熱中症～

7月は「予防強化月間」です。

高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもることで発症します。

屋外だけでなく、屋内でも発症し、場合によっては死に至ることもある。

〈症状〉 めまい、立ちくらみ、手のしびれ、頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感など・・・

※重症になると意識消失やけいれんを起こす。

〈予防のポイント〉

①暑さを避ける→室内時 ・ 扇風機やエアコンで湿度調節を行う
・ 遮光カーテン、すだれ、打ち水などを利用する。

外出時 ・ 日傘や帽子の着用
・ 小まめな休憩
・ 通気性、吸湿性、速乾性のある衣服を着用

②水分の補給→喉の渇きが無くても、小まめに水分、塩分、経口保水液などを補給する

〈発症時の正しい対処方法〉

- ①涼しい場所へ移動する・・・エアコンが効いている室内や、風通しがよい日陰などで横になる。
- ②体を冷やす・・・衣服をゆるめ、体を冷やす（特に首の周りや、脇のした、足の付け根）
- ③水分補給・・・自分で飲める状態であれば、少しずつ水分補給をする。自分で飲めなかったり、意識が無い場合は、すぐに救急車を呼ぶ。

2・3・4・5月誕生者の紹介

2月

齋藤	ナミノ様	大正11年2月1日	93歳	(こうぎよくの家)
吉田	ヤス様	大正15年2月1日	89歳	(きんせいの家)
稲垣	さい子様	昭和11年2月15日	79歳	(ほくとの家)
藤澤	ユキ様	昭和11年2月20日	79歳	(おうりんの家)
加藤	リツイ様	昭和14年2月20日	76歳	(ほくとの家)
加藤	治子様	昭和17年2月27日	73歳	(きおうの家)

3月

中村	カヲリ様	大正6年3月15日	98歳	(ほくとの家)
北田	トメ様	大正7年3月5日	97歳	(さんさの家)
中島	ツカ様	大正8年3月20日	96歳	(こうぎよくの家)
和美	テイ様	大正12年3月5日	92歳	(ほくとの家)
佐藤	ヨエ様	大正12年3月25日	92歳	(おうりんの家)
宮田	忠雄様	大正13年3月30日	91歳	(ほくとの家)
細川	キヨ様	昭和2年3月16日	88歳	(こうぎよくの家)
堀間	エミ子様	昭和3年3月22日	87歳	(さんさの家)
佐々木	久雄様	昭和8年3月8日	82歳	(おうりんの家)

4月

太田代	暢子様	昭和5年4月18日	84歳	(きおうの家)
三浦	洋二様	昭和24年4月14日	66歳	(さんさの家)

5月

角田	ハツ様	大正5年5月1日	99歳	(きおうの家)
大森	吉博様	昭和10年5月1日	80歳	(おうりんの家)
中嶋	ヤエ子様	昭和24年5月5日	66歳	(ほくとの家)

おめでとうございます！

新入所者の紹介

北村	モト様	95歳 (きおうの家)
中田	東子様	87歳 (おうりんの家)
藤原	裕子様	84歳 (こうぎよくの家)
福祉	テフ様	82歳 (おうりんの家)
中川	きみ様	82歳 (こうぎよくの家)
岩間	邦章様	69歳 (こうぎよくの家)

入所者及び利用者状況（平成27年2月～27年5月）

○特別養護老人ホームカーサ南盛岡（定員60名）

月	新入所	退所	延定員	延入所者	利用率	月末在所者
2月	1	0	1,680	1,647	98.0	59
3月	1	0	1,860	1,857	99.8	60
4月	1	1	1,800	1,759	97.7	58
5月	3	4	1,860	1,804	97.0	57
合計	6	5	7,200	7,067	98.1	234

○カーサ南盛岡短期入所センター（定員10名）

月	実人員	延定員	延利用者数	利用率	平均利用
2月	17	280	261	93.2	9.3
3月	15	310	260	83.9	8.4
4月	18	300	228	76.0	7.6
5月	22	310	225	72.6	7.3
合計	73	1,200	974	81.4	8.2

○カーサ南盛岡デイサービスセンター（定員20名）

月	実人員	延定員	延利用者数	利用率	平均利用
2月	21	380	189	49.8	9.9
3月	21	440	223	50.7	10.1
4月	28	420	192	45.7	9.1
5月	28	400	195	48.8	9.8
合計	98	1,640	799	48.8	9.7

○居宅介護支援事業所（カーサ南盛岡在宅介護支援センター）

月	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	利用者数
2月	13	7	10	3	4	2	39
3月	14	9	10	3	3	2	41
4月	9	4	5	3	0	2	23
5月	10	4	5	3	0	2	24
合計	46	24	30	12	7	8	127



いよいよ夏本番と思い、暑い日が続くと思いきや、夜間寒い日があり、体調を崩しやすい季節ですが皆様体調管理の方は大丈夫でしょうか？。

今号は時期が1か月ずれてしまい大変申し訳ございませんでした。その代り、皆様に紹介したいことなど、沢山あり本号の内容が盛りだくさんになりました。ぜひ今後も本誌を楽しみにしてください。

発行元

社会福祉法人 幸星会

〒020-0403

盛岡市乙部4地割139番10

ホームページ <http://casa-minami.com/>

特別養護老人ホーム カーサ南盛岡
カーサ南盛岡短期入所センター

TEL 019-696-1717 FAX 019-696-1313

カーサ南盛岡デイサービスセンター

TEL 019-696-1919

カーサ南盛岡在宅介護支援センター

TEL 019-696-1414